

# 堀口海運株式會社

also power of ...  
... of ...

# 阿 呷

阿形と呷形、  
万物の初めと終わり、  
私共の仕事は  
阿呷の呼吸がすべてです。

そこに信頼も  
チームワークも生まれます。

「運ぶ」だけでなく

「阿呷」の呼(気)と吸(気)で

「お届けする」となると、

主体性も責任も

誇りさえ感じます。

とくに、あなたさまの

「生産管理」のために、

堀口海運は的確で

タイムリーに「お届けいたします」

それが、私共が半世紀を超えて

創り上げたノウハウです。

# 阿

# 呷

- 株式会社IHI
- ジャパンマリンユナイテッド株式会社
- 株式会社神田造船所
- 警固屋船渠株式会社
- 今治造船株式会社
- 尾道造船株式会社
- サノヤス造船株式会社
- 三井造船株式会社
- 川崎重工業株式会社
- 常石造船株式会社
- 株式会社新来島どっく
- 三菱重工業株式会社
- 太陽シャーリング株式会社
- 栄和電機株式会社
- 株式会社ニホンケミカル

- マツダ株式会社
- マツダスチール株式会社
- サミットスチール株式会社
- 広島スチールセンター株式会社
- 株式会社メタルワン・スチールサービス
- 興永鋼材株式会社
- 三菱日立パワーシステムズ株式会社
- 中国工業株式会社
- 株式会社ダイクレ
- 山陽鋼業株式会社
- 株式会社片倉の鋼管
- 山陽工業株式会社
- 太洋ヒロセ株式会社
- 株式会社広島メタル&マシナリー
- 五洋建設株式会社
- 洋伸建設株式会社

- 新日鐵住金株式会社
- JFEスチール株式会社
- 株式会社神戸製鋼所
- POSCO CO., LTD.
- 東京製鐵株式会社
- 新潟製鐵株式会社
- トビー工業株式会社
- 合同製鐵株式会社
- 株式会社クボタ
- 日新製鋼株式会社
- 株式会社淀川製鋼所

- 東進商船株式会社
- 東進エージェンシー株式会社
- 株式会社世亜ジャパン
- 株式会社サンワテクノス
- 株式会社ミライブ
- ペンダ工業株式会社
- アジア貿易株式会社
- ダイネン株式会社

- 伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社
- 住友商事株式会社
- 三井物産スチール株式会社
- JFE商事株式会社
- 株式会社メタルワン
- 株式会社メタルワン西日本
- 日鉄住金物産株式会社
- 伊藤忠丸紅住高テクノスチール株式会社
- エムエム建材株式会社

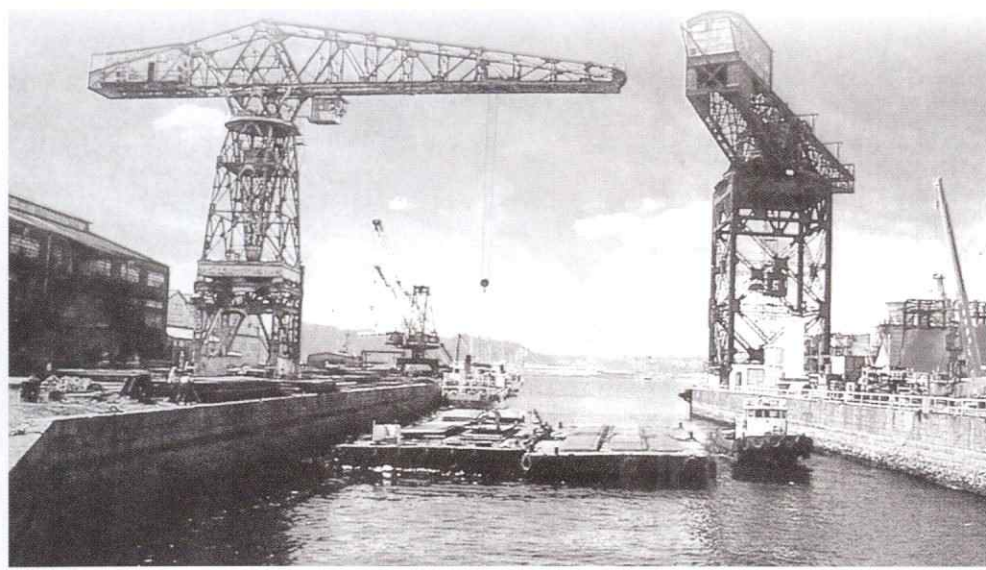
- 小野建株式会社
- 共永興業株式会社

- 豊田通商株式会社

- 阪和興業株式会社
- POSCO JAPAN株式会社
- POSCO Japan PC株式会社
- POSCO大宇ジャパン株式会社
- サムスンC&Tジャパン株式会社

- 日鉄住金物流株式会社
- JFE物流株式会社
- 神鋼物流株式会社
- トビー海運株式会社
- 株式会社大連





高度成長期のシンボル  
巨大クレーンと石組ドックの面影

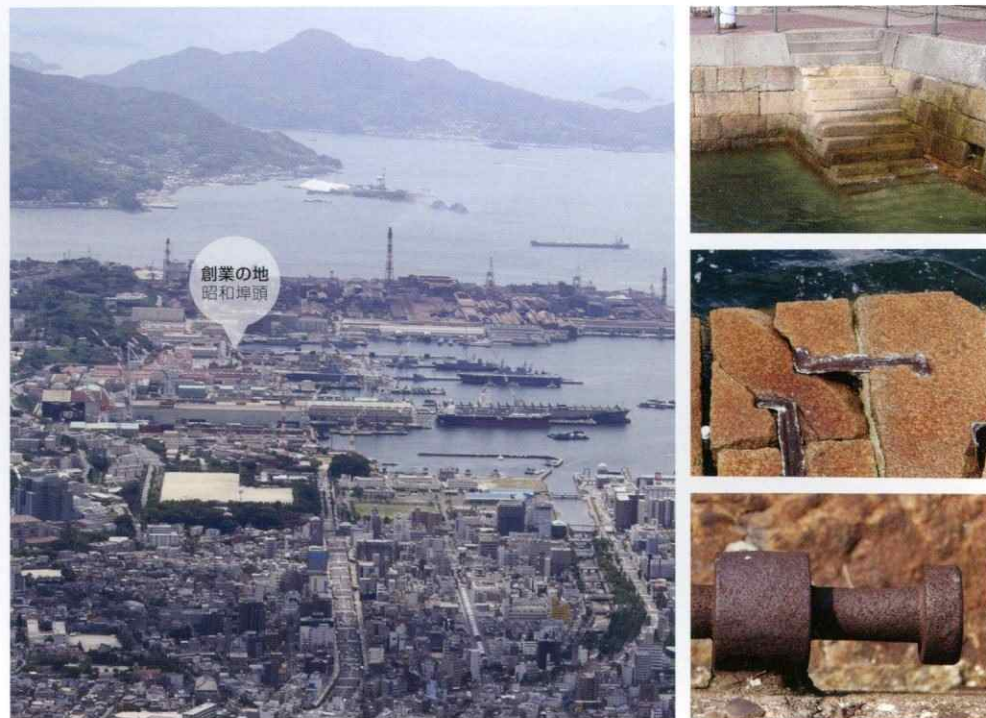
呉海軍工廠係船掘、かつて昭和埠頭は大艦巨砲基地。ハンマーヘッドと呼ばれた巨大200トンクレーンは39mまで持ちあげ、半径47mで旋回しました。

美しいフランス式の石積みの階段はドックでした。ここが、半世紀を超えて私共堀口海運昭和埠頭創業の現場でした。今ではその面影を一部残すだけとなりましたが、呉の街のすべての原点なのです。

呉  
物流そして、国連平和維持活動の拠点として・・・

明治16年3月。1250トンの測量艦が港に入った。艦長は東郷平八郎少佐。彼は7年後、再びやってきた。呉鎮守府第2代参謀長、海軍大佐。日本は急激な近代化へと驚進する。

街道と海道を繋ぐ拠点としての港湾業務に従事する私たちもまた、呉の街をひたすら愛し、その歴史の重みを糧として、これまでがそうであったように、これからも精進してまいりたいと思います。



昭和埠頭に残る石組



未来をイメージ  
記憶の風景

先端科学技術の粋を持ちあげる林立するクレーンのそばに、かつて魚雷を吊るしたという、黒くてシンプルなクレーンが据わっています。

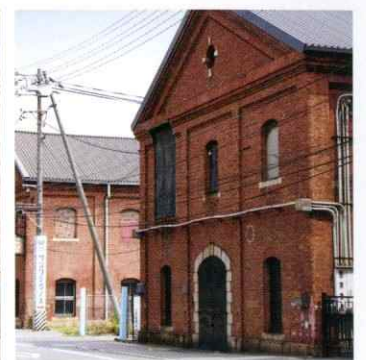
「人間は、現在の時点を過去として振り返って見たとき、自分が歩いてきた道が初めて必然に見える」と哲学者ベルグソンは言っています。これはまた、国も都市も、企業も同じではないでしょうか。

堀口海運が創業の地・昭和埠頭を、国連平和維持活動の拠点とすると国が決めたとき、私共の創業者・堀口薫は、いさぎよく返還しました。

海上自衛隊第1術科学校(旧海軍兵学校) 大講堂



海上自衛隊第1術科学校(旧海軍兵学校) 幹部候補生学校庁舎



近代ニッポンの知の街  
ギリシャ、フランス、そしてイギリスが見える

近代のあけぼのが見える白の石積み、赤いレンガ、そこに若きニッポンのエリートが集まり、近代国家を熱く語った。ほとぼしる生命を国家に捧げて。国中が彼らに未来を託して。

呉の街は軍都というだけでなく、近代日本のモデル都市を形づくっていきました。

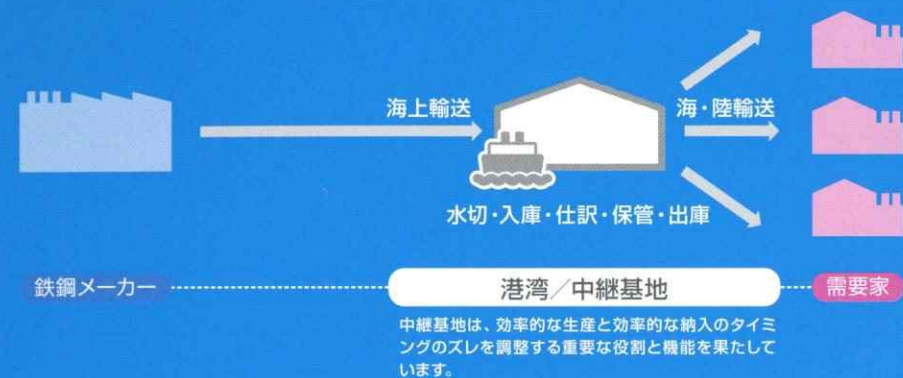
旧呉鎮守府司令長官官舎



【呉から各地へ】  
信頼が結ぶ確かなライン

供給サイドの鉄鋼メーカーは、コンスタントな生産でその効率が高められますが、一方の需要サイドのお客さまはジャストインタイムの調達を要求します。

私共堀口海運は中継基地として、この宿命的ともいえる鉄鋼物流の課題解決が使命です。



【国際物流ネットワーク】  
物流業務システム(NACCS)

- 船舶代理店業務：入出港についての税関・港湾関係省庁手続など
- 保税蔵置場業務：貨物搬出入についての税関手続、貨物の在庫管理など
- コンテナヤード業務：コンテナ積卸し、搬出入についての税関手続など
- 通関業務：輸出入通関の税関手続など
- 海貨業務：パンニング情報の登録など



堀口海運は、中継基地機能を果たしつつ半世紀を超えてきました。

私共は、メーカーから委託された製品をお客さまにお届するまでの時間的調整だけでなく、そのお預かりしている間の品質管理とお届けするタイミングに高いノウハウを蓄積してまいりました。

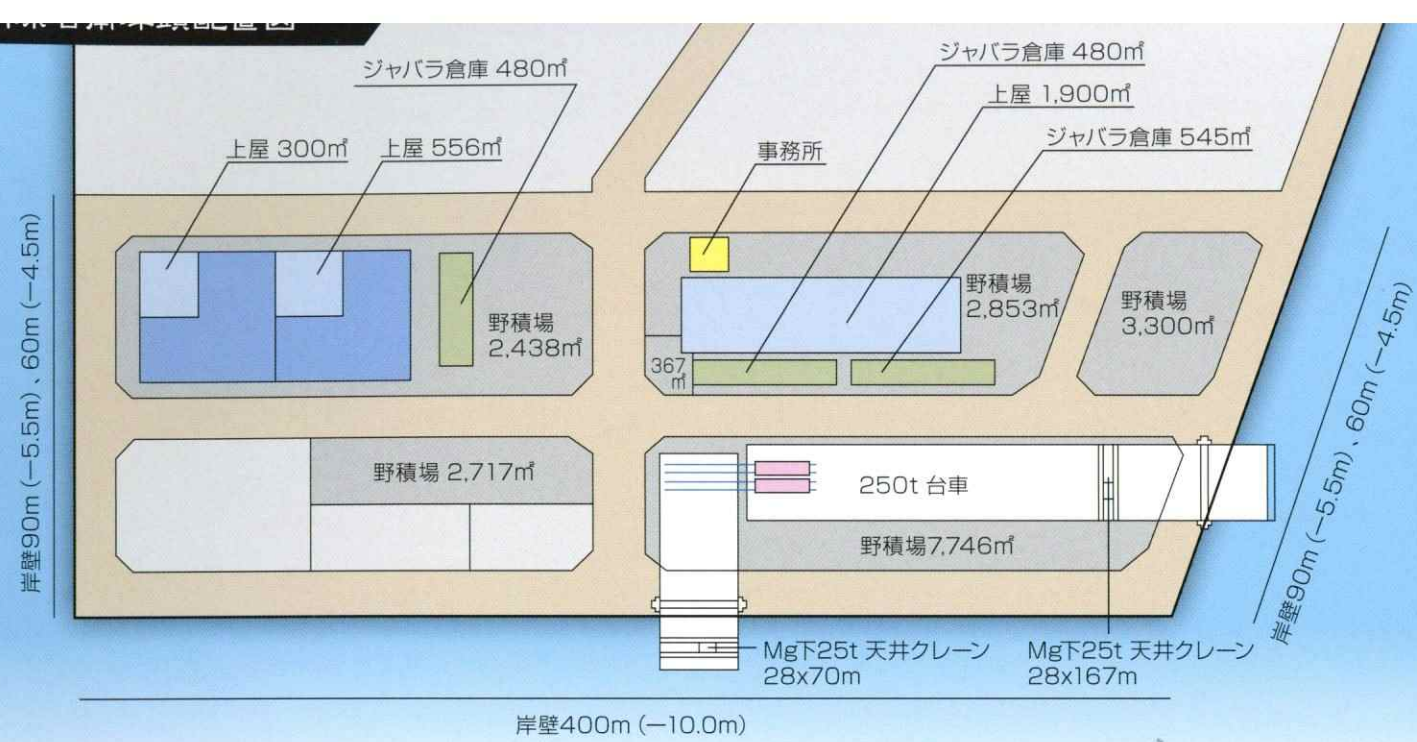
現在の荷受けは、年間1,100隻（国内外船舶）



堀口海運株式会社本社・埠頭位置図

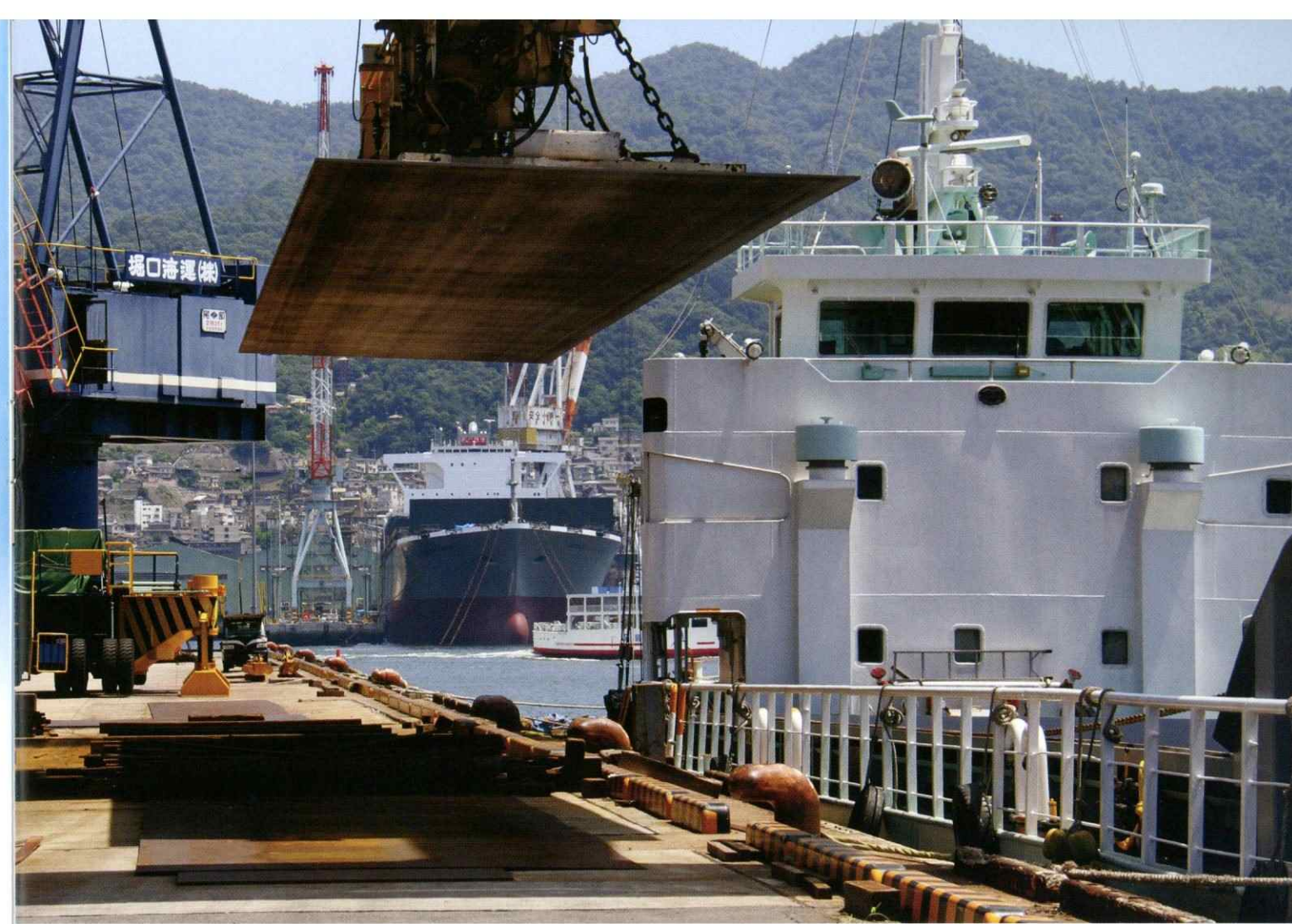
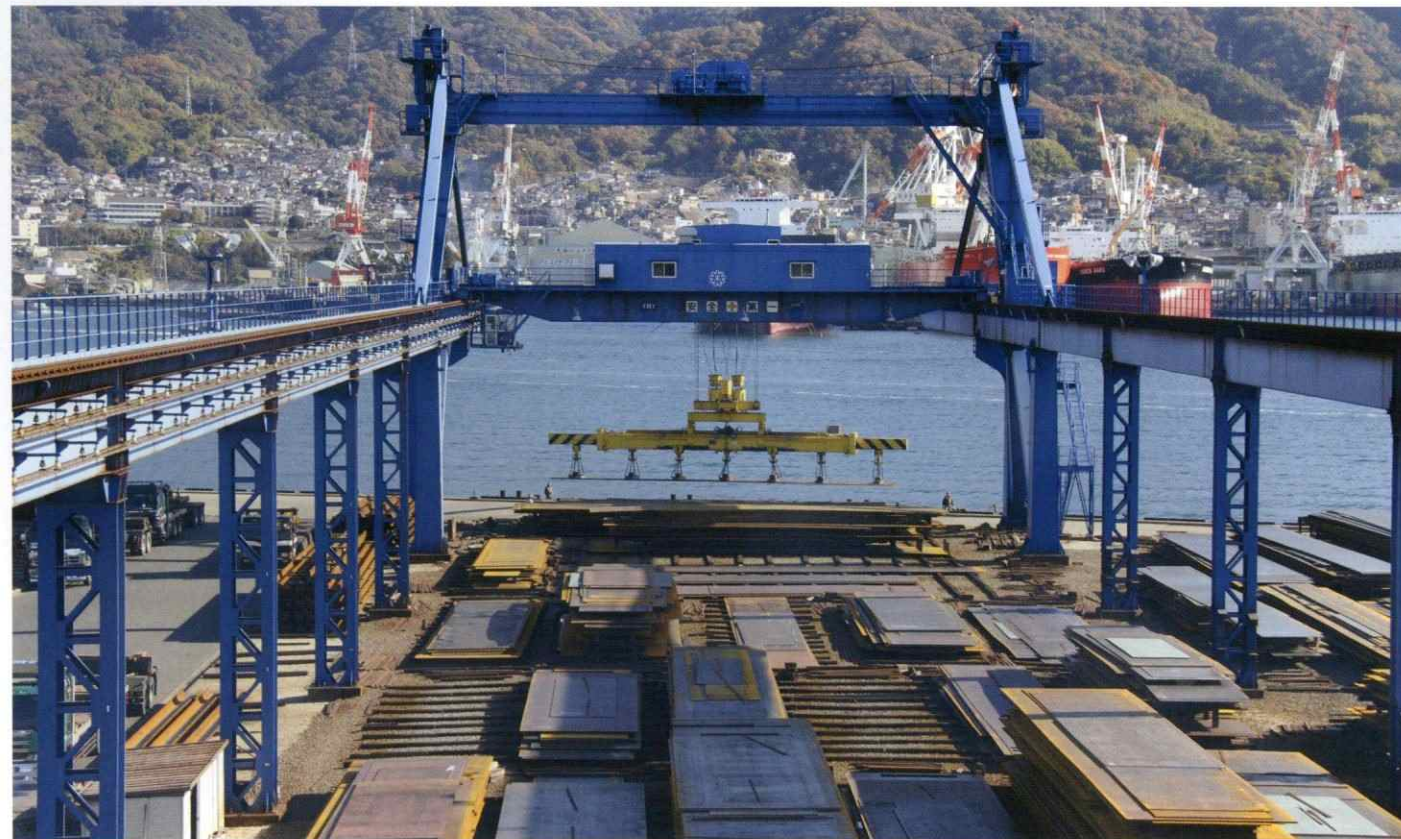




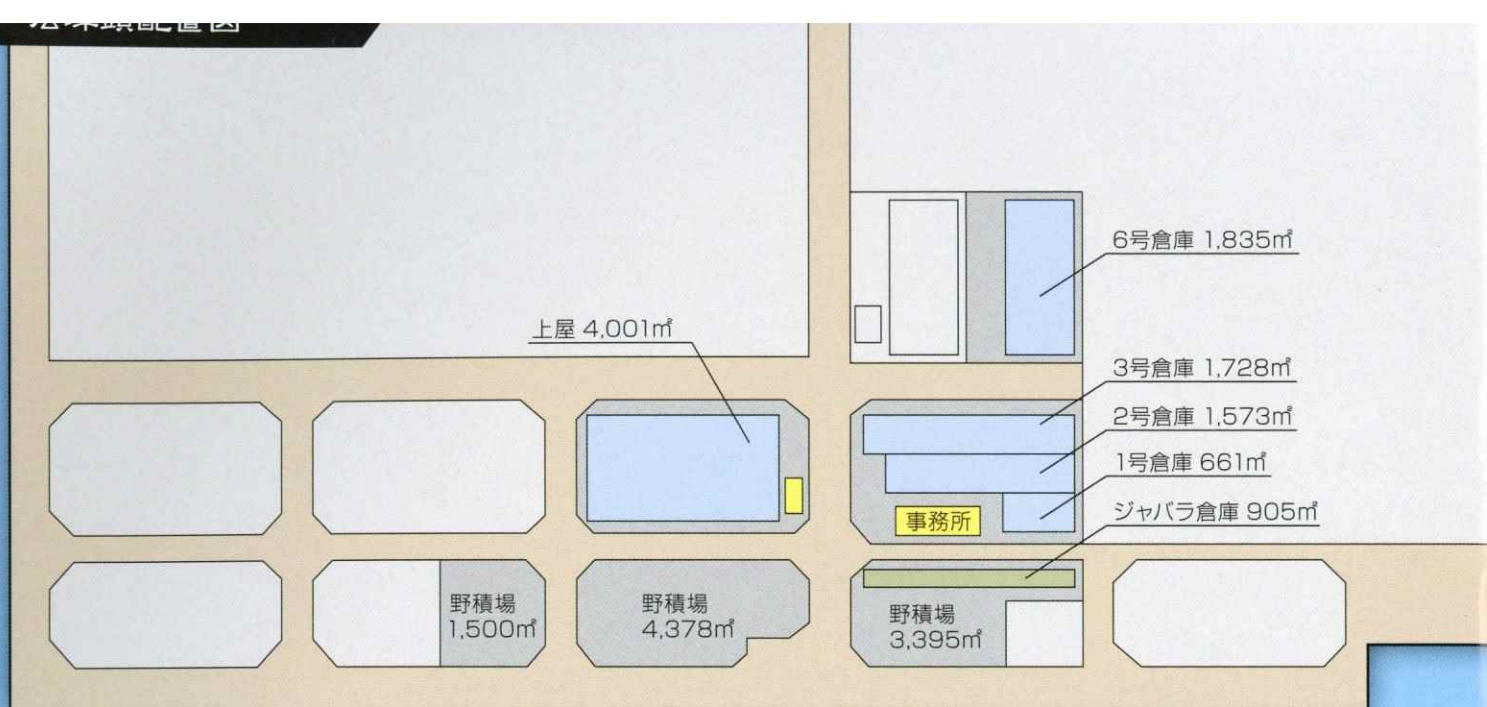


### 川原石南埠頭

所在地	〒737-0822 広島県呉市築地町4番地の8 TEL:0823-21-8261(代) FAX:0823-21-0318	作業機械	Mg下25t天井走行クレーン 2基 自動走行式250t台車 2基 36t電気クレーン 1基 150t吊トラッククレーン 1基 35t吊トラッククレーン 1基 25t天井走行クレーン 2基 15t天井走行クレーン 1基	車両等	セミトレーラー 1台 ポルトトレーラー 3台 15tトラック 1台 4tトラック 1台 1000t台船 1台
完成年月	昭和57年7月				
使用開始	平成元年5月				
荷役岸壁	延長719m(400m・190m・129m)				
係留	15,000D/W級バース2・2,000D/W級バース2・ 700D/W級バース2				
水深	-10.0m(400m)・-5.5m(180m)・-4.5m(120m)				
総面積	66,000m²				
使用総面積	21,810m²				
野積場面積	19,054m²				
倉庫面積	2,756m²				







岸壁360m (-5.5m)

岸壁240m (-4.5m)

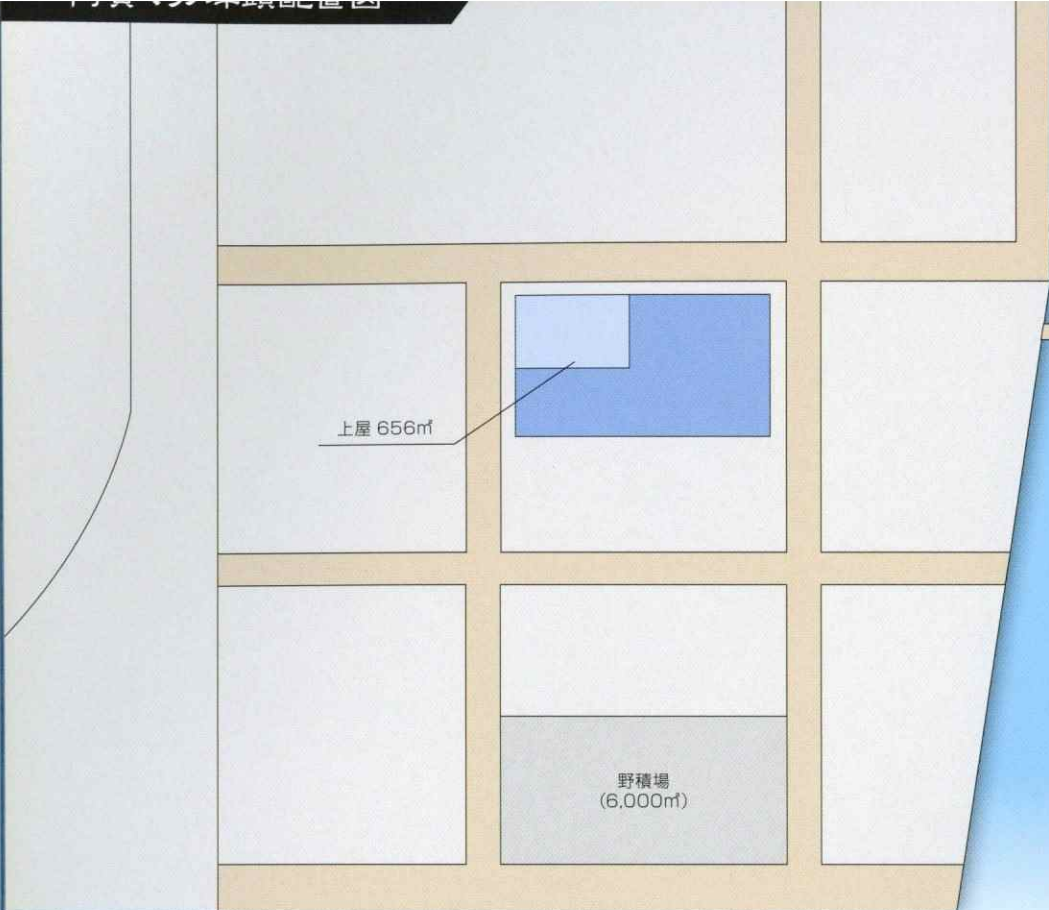
### 広埠頭

所在地	〒737-0314 広島県呉市広多賀谷3丁目2番3号 TEL:0823-72-8289(代) FAX:0823-73-5076	作業機械	26.5t電気クレーン 1基 90t吊クローラクレーン 1基 50t吊トラッククレーン 1基 15t天井走行クレーン 1基 25t天井走行クレーン 3基 20t天井走行クレーン 2基 10t天井走行クレーン 2基 7.5t天井走行クレーン 1基 5t天井走行クレーン 1基	車両等	セミトレーラー 17台 傾斜トレーラー 2台 ポルトトレーラー 1台 15tトラック 2台
完成年月	第1埠頭/昭和47年10月、第2埠頭/平成5年11月				
使用開始	昭和48年9月				
荷役岸壁	延長696m(405m・291m)				
係留	2,000D/W級バース4・700D/W級バース4				
水深	-5.5(360m) -4.5m(240m)				
総面積	66,000㎡				
(埠頭用地)	(第1埠頭16,000㎡)(第2埠頭50,000㎡)				
使用総面積	19,701㎡				
野積場面積	9,273㎡				
倉庫面積	9,798㎡				









### 阿賀マリノ埠頭

所在地 〒737-0004  
 広島県呉市阿賀南7丁目7503の7  
 TEL:0823-72-8289(代)  
 FAX:0823-73-5076

完成年月 平成20年4月  
 使用開始 平成20年10月  
 荷役岸壁 延長260m  
 係留 5,000D/W級 バース2  
 水深 -7.5m (260m)  
 総面積 76,000㎡  
 使用総面積 6,656㎡  
 野積場面積 6,000㎡  
 倉庫面積 656㎡  
 作業機械 200t吊クローラークレーン 1基  
 25t天井走行クレーン 1基



呉の歴史

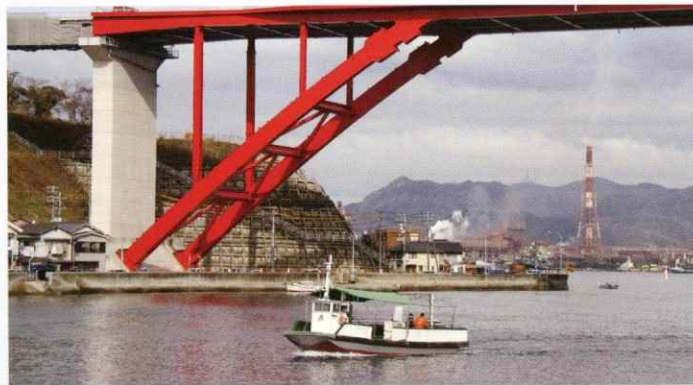
堀口海運は、  
地域とともに歩みます

私達は、港とレンガの街、呉を愛しています。それは、美しい景観の郷土が好きということだけでなく、私どもが明治より軍港として港が栄え、造船業の発展と深くかかわってきたからです。

街の赤レンガに歴史の重みを感じ、石組みのドック跡に先人の知恵と熱情を想いながら私達は、地域の人々と一緒に、これまで呉の歴史を刻みつづけてまいります。



堀口海運(株) 川原石南埠頭 画/星加哲男(呉市在住)



音戸の渡し船



アレイからすこじま(公園)



大和ミュージアム



龜山神社 秋祭の記憶「やぶ」



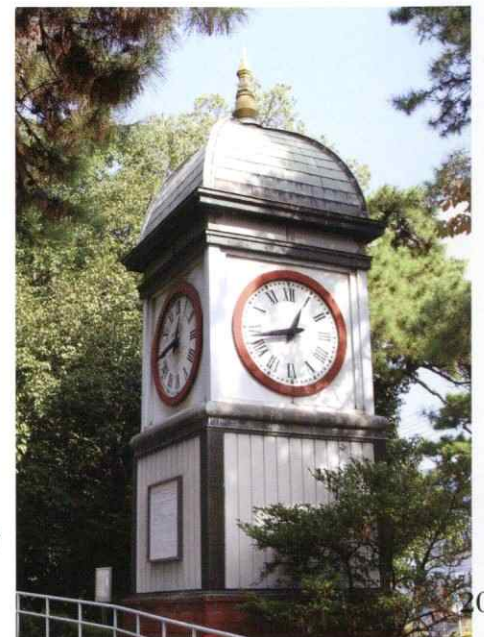
陸に上げられた退役潜水艦  
「てつのかじら館」(海上自衛隊呉史料館)  
として、多くの人に愛されています。



マンチェスターからのレール  
明治20年、クレーンとレールが輸入され、  
昭和埠頭に敷かれました。社長堀口勝哉(当  
時)が皆さまにプレゼントしたものです。



呉市立美術館通り



入船山公園 旧呉海軍工廠塔時計

## 会社概要

会社名 堀口海運株式会社  
 設立 1962年4月28日  
 資本金 16,500万円  
 本社 〒737-0029 広島県呉市宝町7番17号  
 TEL: 0823-22-4477(代) / FAX: 0823-21-0292  
 ホームページ <http://www.horiguchikaiun.co.jp/>

主な事業所 川原石南埠頭事業所  
 〒737-0822 呉市築地町4番地の8  
 TEL: 0823-21-8261(代) / FAX: 0823-21-0318  
 広埠頭事業所 / 阿賀マリノ埠頭出張所  
 〒737-0134 呉市広多賀谷3丁目2番3号  
 TEL: 0823-72-8289(代) / FAX: 0823-73-5076

事業内容 ①港湾運送事業(呉港1種限定第1004号・呉港港湾荷役第12002号)  
 ②倉庫業:中運許第14号  
 ③貨物自動車運送事業:中国自免第1000号  
 ④貨物利用運送事業:中W第0043号・中国自貨第1662号  
 ⑤通関業:指令第92号

役員 代表取締役会長 堀口 勝哉 取締役 折口 稔  
 代表取締役社長 堀口 悟史 取締役 奥谷 公紀  
 常務取締役 堀口 勝弘 監査役 向田 勉則



## 会社沿革

- 1962年 4月 呉市海岸4丁目59番地において、資本金200万円にて当社設立
- 1962年 11月 昭和埠頭にて、沿岸荷役事業及びそれに付随する一切の業務を開始
- 1963年 12月 富士製鉄株式会社の指定河岸となる
- 1963年 12月 広島陸運局より一般貨物自動車運送事業免許取得
- 1964年 5月 中国海運局より港湾運送事業免許取得
- 1964年 5月 中国海運局より沿岸荷役事業(限定)免許取得
- 1966年 9月 八幡製鉄株式会社の指定河岸となる
- 1966年 9月 日本鋼管株式会社の指定河岸となる
- 1968年 1月 株式会社神戸製鋼所の指定河岸となる
- 1969年 11月 呉市宝町7番17号、国有財産地の払い下げを受く
- 1970年 4月 新日本製鐵株式会社の指定河岸となる
- 1970年 10月 住友金属工業株式会社の指定河岸となる
- 1971年 10月 呉埠頭運輸株式会社設立
- 1973年 3月 呉市宝町7番17号に本社屋および倉庫を新築
- 1973年 3月 中国海運局より倉庫業認可
- 1973年 9月 広埠頭にて、沿岸荷役事業及びそれに付随する一切の業務を開始
- 1978年 6月 呉市広多賀谷3丁目2番3号に事務所・倉庫を新築
- 1979年 10月 資本金16500万円に増資
- 1980年 10月 呉市広多賀谷3丁目2番3号に倉庫を増設
- 1984年 4月 呉市広多賀谷3丁目2番3号に倉庫を増設
- 1989年 5月 川原石南埠頭にて、沿岸荷役事業及びそれに付随する一切の業務を開始
- 1991年 1月 川崎製鉄株式会社の指定河岸となる
- 1995年 2月 東京製鉄株式会社の指定河岸となる
- 1998年 7月 川原石南埠頭にて、新設大型クレーン2基の使用開始
- 1998年 8月 昭和埠頭を防衛庁に移管
- 1998年 9月 広埠頭にて新設倉庫の使用開始
- 2001年 10月 中国運輸局より一般港湾運送事業(限定)免許取得
- 2001年 11月 川原石南埠頭保税蔵置場、営業開始
- 2001年 12月 日韓定期コンテナ航路開設(天敬海運株式会社)
- 2008年 10月 阿賀マリノ埠頭にて、沿岸荷役事業及びそれに付随する一切の業務を開始
- 2008年 11月 POSCO CO.,LTD.の製品の荷役開始
- 2009年 10月 日韓定期コンテナ航路、東進商船株式会社に変更
- 2010年 6月 通関業免許取得
- 2012年 3月 中国運輸局より港湾荷役事業(限定)許可
- 2012年 12月 阿賀マリノ埠頭保税蔵置場、営業開始
- 2016年 3月 阿賀マリノ埠頭にて、新設200t吊クレーン1基の使用開始
- 2016年 9月 阿賀マリノ埠頭にて、新設倉庫の使用開始
- 2017年 8月 阿賀マリノ埠頭上屋保税蔵置場、営業開始



## ごあいさつ

### 鉄鋼サプライチェーンの一翼を担う企業として、地場製造業の競争力を支える

瀬戸内の多島美を眺めながら広島から東南へ20kmほど移動すると、海上自衛隊の艦船や建造中の巨大な商船が視界に飛び込んできます。この三方を山々に囲まれた港が、日本の近代史において重要な舞台となった呉港です。私共、堀口海運はここで半世紀あまりにわたって、鉄鋼製品の「中継基地業務」を行ってきました。

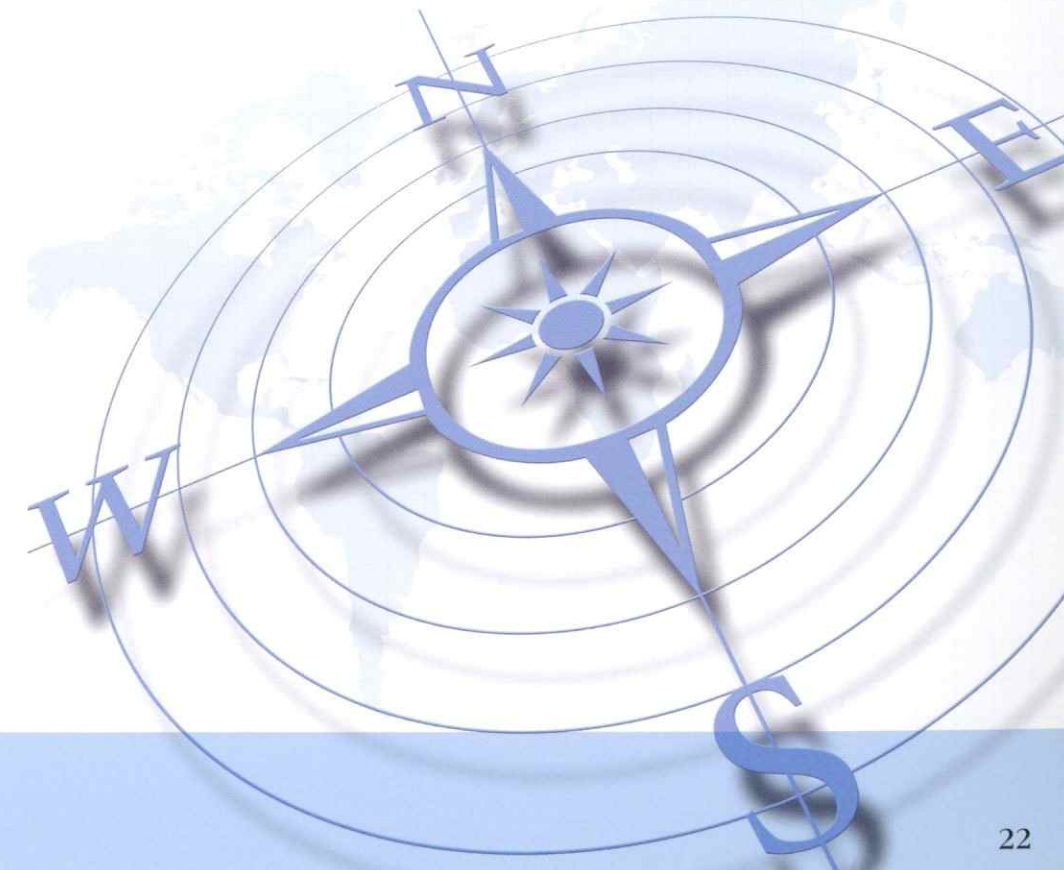
元々、半農半漁の寒村でしかなかった呉のまちが歴史の表舞台に立ったのは明治19年のことです。この年、当地に第二海軍鎮守府が置かれることが決まり、明治22年には呉鎮守府開庁、明治36年には呉海軍工廠が設立されるに至りました。

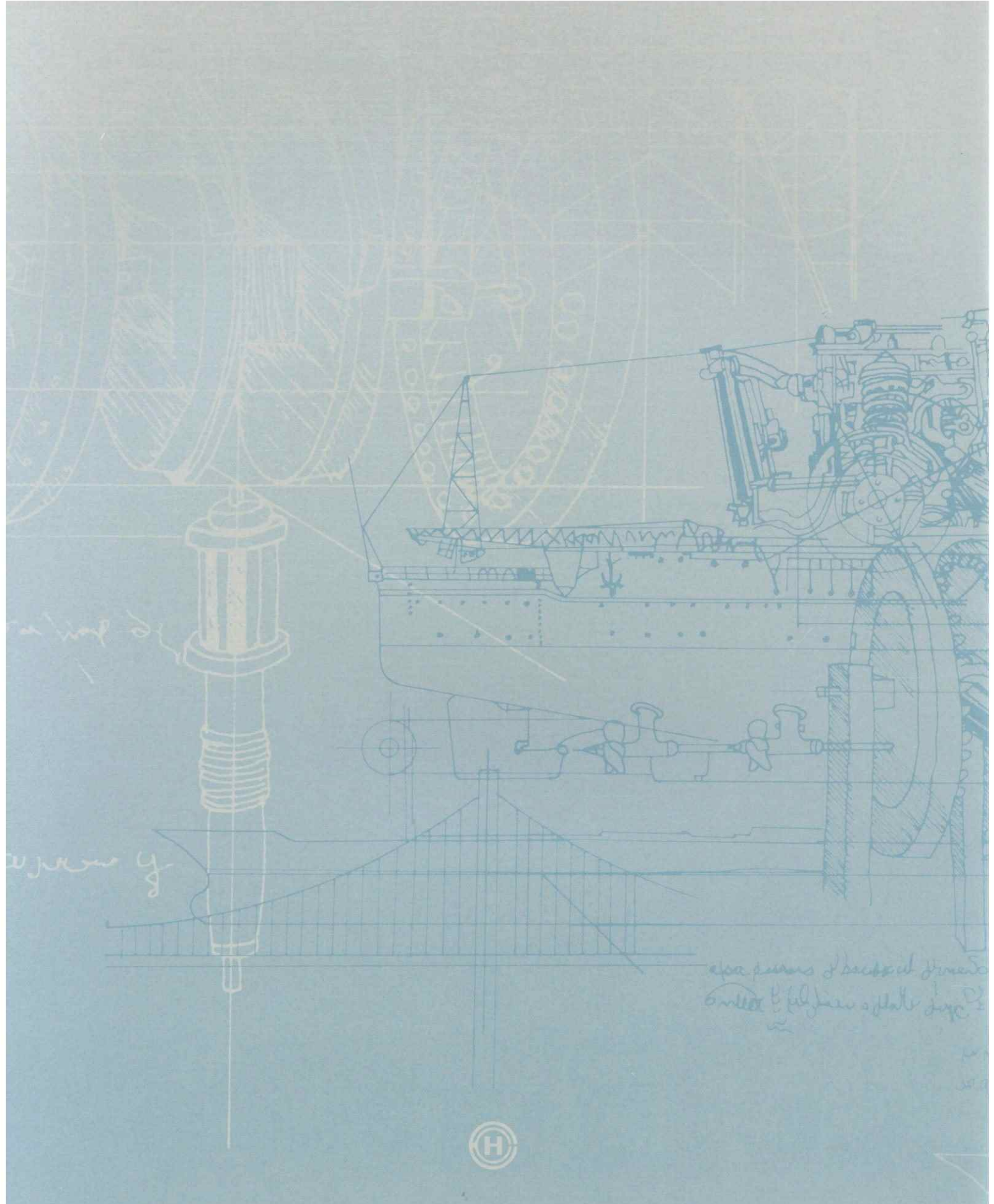
戦艦大和が建造された地として多くの人々に記憶されることとなった呉の源流はこの時代にあります。

終戦後は、昭和25年に制定された旧軍港市転換法によって、旧海軍施設に対する企業誘致が積極的に行われ、造船、鉄鋼、産業機械などの企業進出が相次ぎました。当社は、こうした旧海軍工廠を起源とする重厚長大産業の発展とその延長線上のもとに誕生したと言っても過言ではありません。

現在、国内外20余りの製鉄所から年間約60万トンの鋼材がおよそ1,000隻の船舶で呉港に運ばれてきています。その全てを中継し、各需要家のもとへジャストタイムでお届けするのが当社の役目です。鉄鋼サプライチェーンの一翼を担う企業として、地場製造業の競争力を支えているという自負を持って、今後ともその機能に磨きをかけて参ります。

堀口海運株式会社  
 代表取締役社長 堀口 悟史





Handwritten notes in blue ink, possibly describing the shaft or its dimensions.

Handwritten notes in blue ink, possibly describing the gear assembly or its specifications.

